

■琴似商店街振興組合 玉田さん

琴似商店街でアダプト・プログラムを行っています。これは、自分の店の前の道路などを自らの子どものように「世話をする」という考えで、ごみ拾いなどを行う活動です。また行政との協働で琴似本通にプランターを設置。きれいな道路環境で、さらに、市営駐輪場に自転車を誘導したところ、放置自転車が途端に少なくなり、効果を実感しています。



◆市長から

琴似本通を見てきましたが、本当に丁寧に手入れされ、きれいな花が咲いていました。これが区の意向で一方的に設置されたプランターだったら、地域の人に手入れされることもなく、荒れてしまうかもしれませんね。人にやってもらうのではなく、自分たちでやったことだから維持することができると思います。努力の成果が出ていて、素晴らしいなと思いました。



■フォレストーズクラブ 宇野さん

子どもと一緒に、五感で自然を感じる体験的な活動を行っています。森の中に住んでいるアカネズミやニホンザリガニなどは生きた教材です。また、落ち葉をためてたい肥にする「落ち葉貯金箱」など、緑のリサイクルにも取り組んでいます。

◆市長から

森の中で学んだり、たくさんの動植物とふれあったりできる西区は、本当に自然の宝庫ですね。良い環境に住める喜びを実感しつつ、自然と共生していくことが大切だと思います。

タウントーク
あなたの街で
市長と語ろう！

■平和幼稚園

園長 長谷川さん

平成13年度にビオトープや「小鳥の森」を園内につくり、子どもが普段から自然に親しめる教育に取り組んでいます。ただ、9月の台風で、「小鳥の森」の木もかなり倒れてしまいました。私立の幼稚園なので公的な補助金はなく、保護者やNPOと助け合いながらやっています。自然は生きものなので、ビオトープづくりも終わりはありません。これからも手を加えていきたいと考えています。



◆市長から

ビオトープのある幼稚園とはいいですね。子どもたちが自然に親しむことで、環境のありがたさを感じる。そうした気持ちを育てることが、環境教育には大事ですね。台風の倒木被害の話が出ましたが、それに対する対策には、皆さんに木を植えてもらうなど、市民の力も借りたいですね。家の庭に木を1本植えると、全市で37万本以上になります。一人ひとりの力を結集して、より大きな力を生み出せるよう、皆さんにも協力していただきたいです。

※動植物が生育できるように造成された小規模な空間。

八軒地区はこんな街

- 1.歴史のある街
明治4年に開拓使の命令で8軒の開拓農民が移り住み、その戸数が地名になったといわれています。
- 2.北海道で一番の高層マンションも
JR琴似駅北口再開発の一環として、高さ134.8mの40階建てマンションが建築中です。
- 3.農試公園のある街
昭和49年に北海道立農業試験場跡地に建設された農試公園。野球場やテニスコートなどがあり、西区民の憩いの場となっています。



運営委員会の皆さんが市長と懇談

平成十三年十月、八軒まちづくりセンター内に、地域のまちづくりを情報面で支援するため「まちづくり情報交流センター」を開設しました。ミーティングスペース、資料・掲示コーナーをはじめ、インターネット接続のパソコン、印刷機なども設置し、まちづくりを行う団体や地域の方々が利用しています。また、ボランティアの方が常駐し、利用の手伝いをしてくれます。情報交流センターの運営委

また、「まちづくりは昔話から」ということで八軒に伝わる昔話や民話、写真や資料を集め、この昔話を基にラジオドラマや芝居を制作して発表しました。さらに、情報提供機能を高めるため、今年度中にホームページを開設する予定で準備を進めています。これからもこの情報交流センターを八軒地区のまちづくりの拠点として、より開かれた交流の場にしていきたいと考えています。

住民参加で街が変わる

広げよう！
まちづくりの輪



まちづくり情報交流センター運営委員会 委員長 本間 勝さん

まちづくりを行う皆さんの交流の場として

西区
八軒まちづくりセンターの巻
☎(611)2221

また、「まちづくりは昔話から」ということで八軒に伝わる昔話や民話、写真や資料を集め、この昔話を基にラジオドラマや芝居を制作して発表しました。さらに、情報提供機能を高めるため、今年度中にホームページを開設する予定で準備を進めています。これからもこの情報交流センターを八軒地区のまちづくりの拠点として、より開かれた交流の場にしていきたいと考えています。

市内87のまちづくりセンターから